

令和6年8月1日
文化観光スポーツ部文化振興課
担当：藤井
内線：3846 外線：076-225-1371

観能の夕べ 企画公演の開催について

「観能の夕べ」の企画公演として、「LED能『鶴』」と「能『張良』」の2公演を開催します。

「LED能『鶴』」では、普段と異なる色彩豊かなLED照明の演出で能を上演します。また、県立歴史博物館との連携事業として、同館で開催中の「知の大冒険 一東洋文庫 名品の煌めき」展において、中国正史の傑作「史記」が展示されることを記念し、「史記」を題材とする演目、能「張良」を上演します。

<LED能「鶴」概要>

日時 令和6年8月3日（土）

17：00開演（16：00開場）

内容	狂言「附子（ぶす）」	太郎冠者	清水	宗治
	能「鶴（ぬえ）」	シテ	佐野	玄宜
		ワキ	殿田	謙吉

※能「鶴（ぬえ）」のみLED照明で演出し、狂言「附子（ぶす）」は通常照明下で上演

料金 2,500円（全席自由・高校生以下入場無料）

場所 県立能楽堂（金沢市石引4丁目18番3号）

<能「張良」概要>

日時 令和6年8月10日（土）

17：00開演（16：00開場）

内容	狂言「柿山伏（かきやまぶし）」	山伏	山田	謙二
	能「張良（ちょうりょう）」	シテ	佐野	由於
		ワキ	宝生	欣哉

料金・場所 LED能「鶴」に同じ

※公演の様子を撮影する場合は申請が必要なため、係員にお尋ねください。

主催 兼六園周辺文化の森等活性化推進実行委員会
いしかわの伝統文化活性化実行委員会

観能の夕べ 企画公演

LED能

能 「**鶴**」 ぬえ

シテ 佐野玄宜
ワキ 殿田謙吉

狂言 「**附子**」
ぶす
太郎冠者 清水宗治



2024 **8.3** |土|

17:00開演(16:00開場)

〈会場〉石川県立能楽堂

〈料金〉2,500円 【全席自由】
(高校生以下無料)

※チケットの購入等については、裏面の能「張良」をご覧ください。

観能の夕べ 企画公演 LED能「鶴」

令和6年 8月3日(土)

17:00開演(16:00開場)

〈会場〉石川県立能楽堂

普段と異なる色彩豊かなLED照明の演出で能を上演します。
伝統芸能の美が、新たな光で一層輝きます。一味違った能の世界をお楽しみください。

〈解説〉 村戸 弥生 金沢美術工芸大学非常勤講師

◆ 能「鶴」

(シテ) 佐野 玄宜
(ワキ) 殿田 謙吉
(間) 中尾 史生
(笛) 室石 和夫
(小鼓) 住駒 俊介
(大鼓) 飯嶋 六之佐 (太鼓) 麦谷 暁夫
(後見) 佐野 由於 佐野 弘宜
(地謡) 渡邊 荀之助 渡邊 茂人 高橋 憲正 木谷 哲也
田屋 邦夫 山本 貢伸 水口 純治 寺田 茂

【あらすじ】 旅の僧が、芦屋の里で宿を借りようとするが断られ、里人の勧めで川沿いの御堂に泊まる。夜、そこに現れた舟人は、自分が鶴の亡霊であると明かし、源頼政に退治された時の様子を語って消える。僧が読経していると、鶴の亡霊が元の姿で現れ、頼政が鶴討伐後に剣を賜ったことなどを語り、救いを求めながら消えて行った。



令和4年度 LED能「黒塚白頭」

◆ 狂言「附子」

(太郎冠者) 清水 宗治
(主) 能村 祐丞 (次郎冠者) 炭 光太郎
(後見) 吉川 真生

【あらすじ】 主人は用事があるため出かけるので、太郎冠者と次郎冠者に留守番を命じます。その際に猛毒の附子があるので気をつけるように言い残します。附子が気になる二人の冠者は、桶の紐を解き蓋を開けて中を見てつい…。

観能の夕べ〈公演情報〉

2024/7/6(土)~8/31(土) 毎週土曜日

会場：石川県立能楽堂、加賀公演(7/27)のみ 團十郎芸術劇場うらら

料金：【通常公演・加賀公演】各1,500円 【特別公演(8/24)】3,000円

チケット取扱：県立能楽堂、県立音楽堂チケットボックス、金沢能楽美術館、香林坊大和プレイガイド、
石川県小松市團十郎芸術劇場うらら ※加賀公演(7/27)のみ

7/6(土)

〈狂言〉膏薬煉

〈能〉胡蝶

8/17(土)

〈狂言〉因幡堂

〈能〉六浦

7/13(土)

〈狂言〉昆布売

〈能〉殺生石

特別公演

料金：3,000円

7/20(土)

〈狂言〉咲嘩

〈能〉吉野静

8/24(土)

〈仕舞〉融

〈狂言〉瓜盗人

加賀公演

会場：小松市團十郎芸術劇場うらら

7/27(土)

〈狂言〉伯母ヶ酒

〈能〉岩船

8/31(土)

〈狂言〉寝音曲

〈能〉経政

お問い合わせ／石川県立能楽堂 TEL&FAX.076-264-2598

加賀公演(小松市)についてのお問い合わせ／いしかわの伝統文化活性化実行委員会(石川県文化振興課内)

TEL.076-225-1372 FAX.076-225-1496

観能の夕べ 企画公演 能「張良」

17:00開演(16:00開場)

〈会場〉石川県立能楽堂

〈知の大冒険 -東洋文庫 名品の煌めき-〉展で、中国正史の傑作『史記』が展示されることを記念し、『史記』を題材とする演目・能「張良」を上演します。古典芸能で『史記』の世界観をご堪能ください。

〈解説〉猪瀬 千尋 金沢大学人間社会研究域准教授

◆ 能「張良」

ちょうりょう

(シテ) 佐野 由次 (ツレ) 木谷 哲也

(ワキ) 宝生 欣哉

(間) 炭 哲男

(笛) 江野 泉

(小鼓) 住駒 俊介

(大鼓) 飯嶋 六之佐 (太鼓) 麦谷 暁夫

(後見) 島村 明宏 佐野 玄宜

(地謡) 金森 秀祥 渡邊 茂人 佐野 弘宜 金森 良充

山崎 健 中村 清 酒井 章 船本 嘉人

【あらすじ】 漢の高祖の臣下張良は夢を見た。馬上の老人の脊を拾ったところ、老人が五日後ここに来れば兵法の奥義を伝えると約束する、という内容だった。張良は約束の場所へ向かうが遅刻してしまい、老人は怒ってまた五日後に来るよう約束して消える。再び向かった張良の前に、黄石公という老人が現れる。襲い掛かる大蛇から脊を取り戻し、老人に履かせた張良は兵法の奥義を授かる。

宝生 欣哉

〈ワキ方下掛宝生流十三代宗家〉
重要無形文化財各個指定保持者
(人間国宝) ©公益社団法人能楽協会



◆ 狂言「柿山伏」

かき やま ぶし

(山伏) 山田 譲二

(畑主) 清水 宗治 (後見) 能村 晶人

【あらすじ】 修行の帰り道、喉が渴いた山伏は道中で柿の木を見つめます。柿の木へ登り柿を食べて喉を潤していると、そこへ柿畑の持ち主が見回りにあらわれ山伏を見つけます。木の陰に隠れた山伏を見て、動物の真似をさせてからかっていると…。

— 展覧会で『史記』の実物と出会う —

石川県立歴史博物館 知の大冒険
令和6年度夏季特別展 — 東洋文庫 名品の煌めき —

約100万冊の蔵書を誇る東洋文庫の全面協力の下、司馬遷の『史記』やマルコ・ポーロの『東方見聞録』といった誰もが教科書で見たことのある有名な書物などを通して、アジアの歴史や文化を紹介します。

会期：2024/7/19(金)～9/1(日)

【前期】7/19(金)～8/4(日) 【後期】8/6(火)～9/1(日)

※8/5(月)は展示替えにより休館

時間：9:00～17:00(展示室への入室は16:30まで)

※7/19(金)のみ10:00開場

会場：石川県立歴史博物館 特別展示室 企画展示室

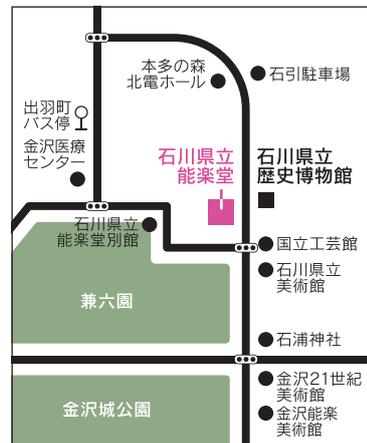
観覧料：【一般】1,200円(960円)

【大学生・専門学校生】960円(760円)

※高校生以下無料、()は20名以上の団体料金、65歳以上は団体料金



司馬遷『史記』(部分)
紀元前91年頃成立 1525年(明代)刊
公益財団法人東洋文庫蔵
【画像はイメージです】



会場へのアクセス

金沢駅兼六園口(東口) 6番のりば
北鉄バス 出羽町バス停より徒歩3分

お問い合わせ／石川県立歴史博物館 〒920-0963 石川県金沢市出羽町3-1 TEL.076-262-3236

主催／石川県立歴史博物館・読売新聞社 監修／公益財団法人東洋文庫 特別協力／北國新聞社

後援／NHK金沢放送局、MRO北陸放送、石川テレビ放送、テレビ金沢、HAB北陸朝日放送、エフエム石川



日本橋 JAPAN CULTURAL EXPO 2.0

令和6年度 文化庁 文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光推進事業

能

張良

ち
よ
う

り
よ
う

観能の夕べ 企画公演

石川県立歴史博物館〈知の大冒険 東洋文庫 名品の煌めき〉展

連携イベント

狂言「柿山伏」

かき やま ぶし

山伏 山田 讓二



シテ 佐野 由於
ワキ 宝生 欣哉

2024 8.10 |土|

17:00開演(16:00開場)

〈会場〉石川県立能楽堂

〈料金〉2,500円 【全席自由】
(高校生以下無料)

チケットのお求め

- 石川県立能楽堂(076-264-2598)
- 石川県立音楽堂チケットボックス(076-232-8632)
- 金沢能楽美術館(076-220-2790)
- 香林坊大和プレイガイド(076-220-1332)

※石川県立能楽堂以外でのチケット販売は各公演日の3日前までとなります。
※高校生以下無料。ただし、入場券が必要となります。入場券は石川県立能楽堂でお求めください。

お問い合わせ／石川県立能楽堂 TEL&FAX:076-264-2598

主催／いしかわの伝統文化活性化実行委員会、兼六園周辺文化の森等活性化推進実行委員会

写真提供／(公社)金沢能楽会